

まつうら かずこ  
松浦 和子さん (ほうふグローバルネット代表)  
2006 年度 1 次隊 青年海外協力隊  
派遣国：ヨルダン 職種：保健師  
2020 年 7 月 26 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 異国生活 地域で支える

国際協力機構 (JICA) 青年海外協力隊の元隊員の仲間たちと 2012 年、防府市で「ほうふグローバルネット」という団体を立ち上げた。2 カ月に 1 回程度の交流イベントを行っている。浴衣の着付けや巻きずし作りといった日本文化体験、バーベキューなどの内容で、毎回いろいろな国の外国人と日本人が交流する。

私は 06 年から 2 年間、保健師としてヨルダンで活動した。配属先のアカバ保健センターでは、妊婦さんや乳幼児の健診などの業務に当たった。保健指導をするのにアラビア語がうまく話せず、代わりに写真やイラスト入りの資料を作って、足りない語学を補いながら活動した。



ほうふグローバルネットが催した浴衣の着付け体験

生活も言葉の面では苦労しっぱなしだった。日頃、話し相手になってくれている同僚や近所の人には生活全般でとてもお世話になり、それで何とか 2 年間で過ごすことができたというのが実感だった。

防府市に住む外国人の多くは技能実習生である。彼らの生活を知ると、日本人との接点が少なく、自国の仲間だけで完結した生活を送っていると感じる。私自身は周囲のヨルダン人に支えられての 2 年間だったので、身近にいる外国人のために何かしたいと思い活動を始めた。

定期的なイベント開催を続けることで、外国人とのネットワークが広がっていると感じる。山口県にいても、地域にいる外国人を支えることで海外とつながり続けることはできる。それが今の自分にできることだと思い活動を続けている。